

これまでの取組状況について

- R3年3月からポータルサイト(<https://www.cyber-port.net/>)上で利用申請受付を開始。
⇒これまで(R4年5月末時点)、**計182社からの利用申請を受付**。
(複数の事業種で登録している会社もあるため、事業種別の登録数は、のべ273者)

事業種別	申請数
荷主	20
外航船社・内航船社	4
NVOCC/フォワーダ	24
海貨業者	30
通関業者	56
ターミナルオペレータ	16
陸運業社	87
倉庫業者	18
船舶代理店	10
届出荷送人・登録確定事業者	8
計	273

※内訳は複数の事業種別に該当する企業の重複を含む

- 令和3年4月の第一次運用開始以降、利用者の意見等をもとに機能改善を実施しているところ。
- 令和3年度には、メッセージ機能等のユーザビリティ向上に関する改修やColins連携等の機能拡充を行っている。

令和3年度に行った主な機能改善例

機能名	概要
メッセージ機能	従来のメッセージ機能は帳票送信時のみの付加機能であったが、帳票送信時に限らず単体でのメッセージの送受信が可能となるよう改修し、事業者間のコミュニケーション手段として利用可能に。
CSVカスタム機能	帳票単位でCSV形式によるファイルの取込および出力に対応。ファイルの入出力に利用するCSVのフォーマット(必要項目、項目順、繰返し項目の表現方法など)は組織毎にカスタマイズ可能としており、利用者がそれぞれ業務で利用するリストと高い互換性をもって利用可能に。
ターミナル問合せ機能	ターミナルオペレータ等との間でのデマレッジ料や検査料の問合せから、回答料金の確認、支払申込、振込先回答確認、入金通知までの一連の業務を行う為の新機能を追加。
Colins連携機能	Cyber PortからColinsへのシングルサインオン(同一ID・パスワードでのサインオン)を実現。また、Colinsが保持する「船舶動静情報」「CY輸出コンテナ情報」「CY搬出可否情報」がCyber Portに連携され、帳票データ作成時の入力補助や、APIでの自社システムへの取り込みが可能に。

※その他の機能改善については、ポータルサイトに掲載

機能改善: メッセージ機能の改善

ご意見

取引先からの情報でなにか項目が足りない場合など、結局Cyber Port外のメール等でのやりとりになる。



解決策

従来のメッセージ機能を改善し、事業者間のコミュニケーション手段として、帳票ごとにメッセージの送受信が可能に。これにより、Cyber Port内で事業者間の帳票や連絡のやりとりが完結可能に。

メッセージの参照(帳票編集画面)

The screenshot displays the Cyber Port interface with a document editing screen for 'UL010: ブッキング依頼書'. A message window is open on the right side, showing a list of messages. A callout box points to the message list with the text: '自組織が作成・受領したメッセージを一覧で表示。帳票送信時のメッセージも併せて表示。' (Display a list of messages created or received by your organization. Also display messages sent with the document).

Another callout box points to the message list with the text: '返信・編集・削除が可能' (Reply, edit, and delete are possible).

A third callout box at the top right of the interface says: 'アイコンのクリックでメッセージ画面を表示/閉じる' (Click the icon to display/close the message screen).

The interface includes a top navigation bar with 'Home', '取引', '問合せ', 'netNACCS', 'CSV', and '各種資料'. The left sidebar shows 'NN-XX-202205deal' and 'ブッキング依頼書'.

機能改善: CSVカスタム機能の追加

ご意見

CSVでのダウンロード/アップロードがコンテナ情報等の明細項目のみに限定されていた。
機能ごとのデータ項目定義書があるのだから、一括アップロードを可能とした方が良いのではないか。

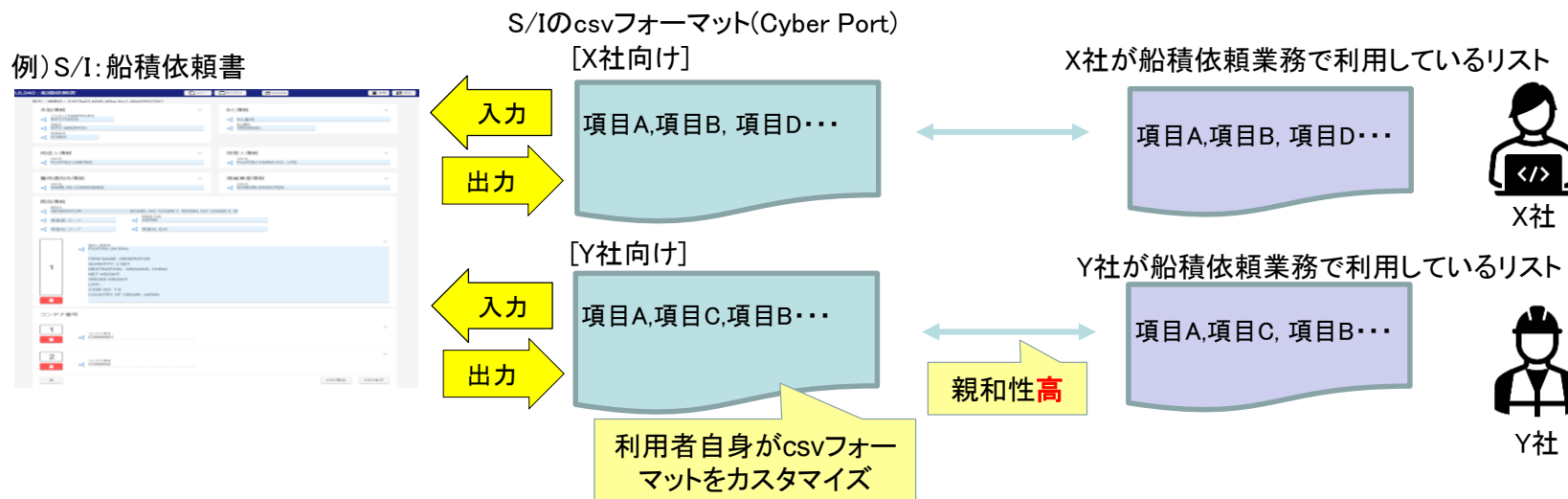
解決策

Cyber Portの帳票csv入出力フォーマットを各利用者がカスタマイズできる機能を新設。
⇒各利用者が業務で利用するリスト(csv、Excelなど)の形式に合わせた帳票データの入力/出力が可能に。

<カスタマイズ可能な要素>

- ①入力/出力するファイルの形式
- ②入力/出力対象とする帳票項目の選択
- ③入力/出力ファイルの帳票項目の並び順

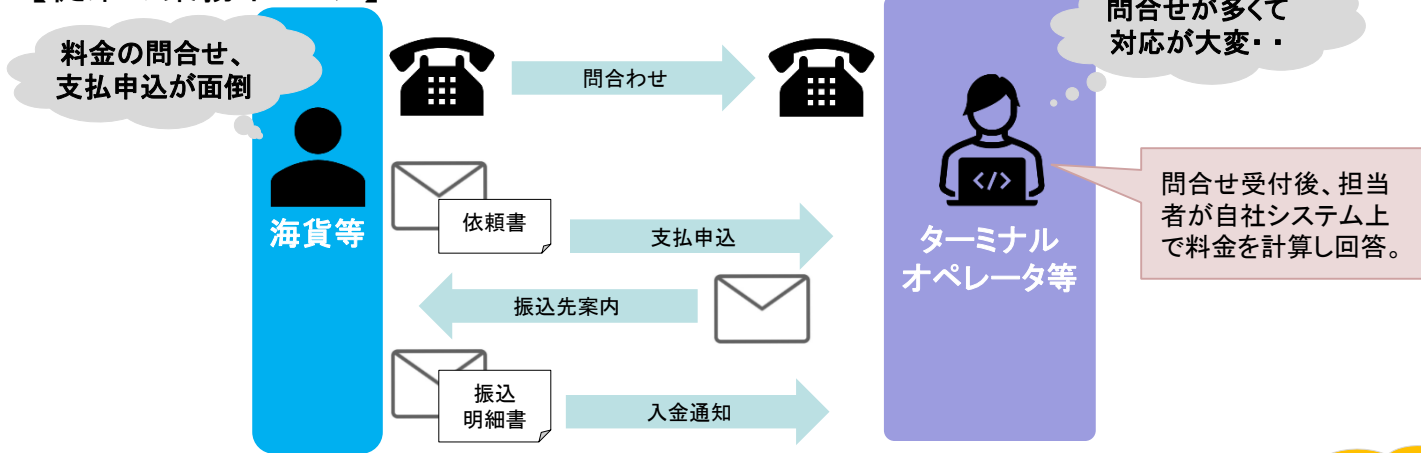
個社システムの既存フォーマットでも利用可
⇒ CSVファイル作成に係るシステム改修の負担軽減



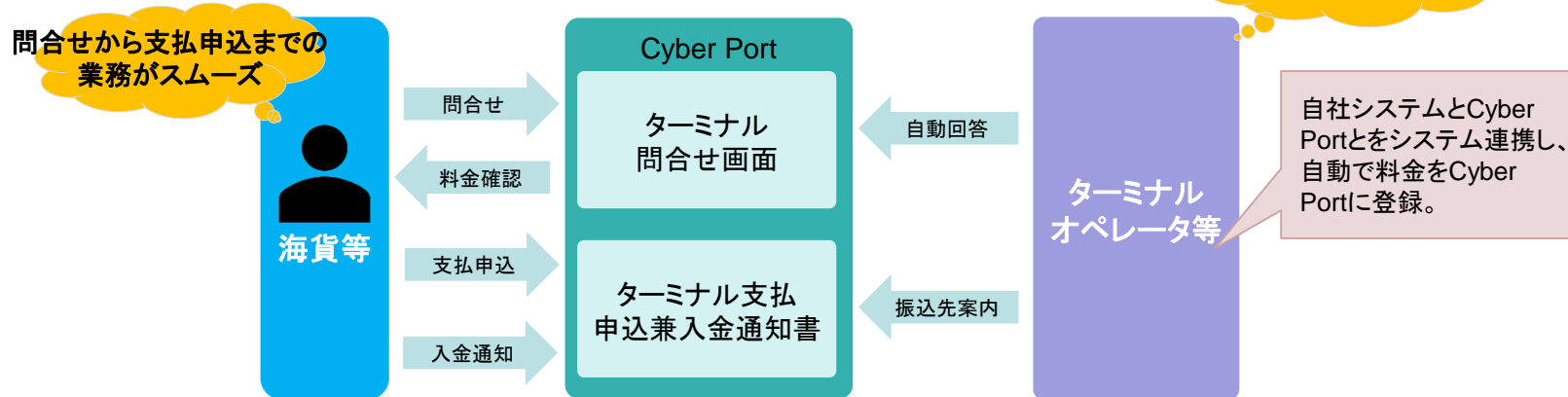
機能改善: ターミナル問合せ機能の追加

- ターミナルオペレータ等との間でのデマレッジ料や検査料の問合せから、回答料金の確認、支払申込、振込先回答確認、入金通知までの一連の業務を行う為の新機能を追加。
- これにより、業務の円滑化や電話等による問合せの対応業務が大幅削減が可能に。

【従来の業務イメージ】

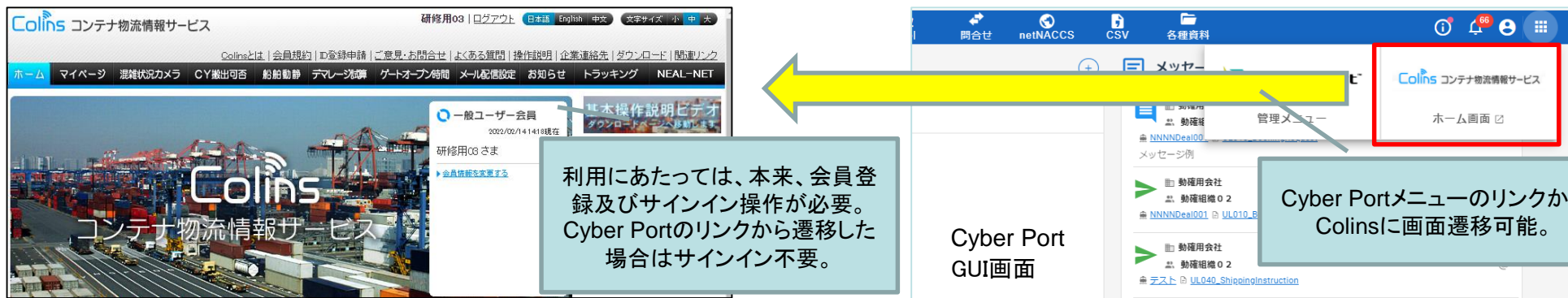


【本機能を利用した際の業務イメージ】



機能改善: Colins連携機能の追加

- Cyber Port利用者であれば Colins※のWebサイトが利用可能になり、Cyber Portのヘッダメニューのリンクをクリックすることで、別途サインイン操作をする必要なくColinsが利用可能に。
- また、Colinsが保持する「船舶動静情報」「CY輸出コンテナ情報」「CY搬出可否情報」がCyber Portに連携され、連携データは1. 帳票GUIでの入力補助、2. 取引内データの自動更新によるCyber Portの帳票データ作成への活用、3. 連携データ参照APIによる自社システムへの取込みが可能に。



※Colins (コンテナ物流情報サービス)は、ターミナルオペレータ、荷主、海貨事業者、運送事業者等の関係事業者間で、一元的にコンテナ物流情報を共有化するための会員登録制のシステム。国土交通省港湾局がシステムの開発・運営。

